

●自然体験⑱



滝野バードウォッチング

概要

双眼鏡を片手に、滝野に生息するさまざまな鳥を観察しましょう

人数

・何人でも

対象

・幼児～

実施期間

・春～秋

所要時間

・90分程度



活動場所

・詳細は別紙 | 観察ポイントマップ参照

指導のねらい

・野鳥の観察をととして自然環境に目を止める力や感受性を養う

活動のながれおよび留意点

【事前準備】

- ① 配布物を印刷する
 - ※ 別紙1～2参照
- ② 野鳥リストにある野鳥の特徴を調べる
 - ※ どのような情報（鳴き声、大きさ、色）があればその野鳥を見つけることができるのかをグループで共有してから調べ学習に取り組む
 - ※ 滝野のいきものさがし図鑑を参考にするとよい
- ③ 調べた野鳥についての情報はプリントアウトしたり、ノートにまとめるなどして整理する・
- ④ 双眼鏡の使い方を確認しておく
 - ※ 別紙2参照

【当日】

- ① 別紙1をもとにルール説明を行う
- ② マップを見ながらバードウォッチングを実施する
- ③ 終了したら、解答を見て答え合わせをする
- ④ どのような野鳥が見られたか、双眼鏡をととして自然を観察したことで気づいたことを共有する

【応用】

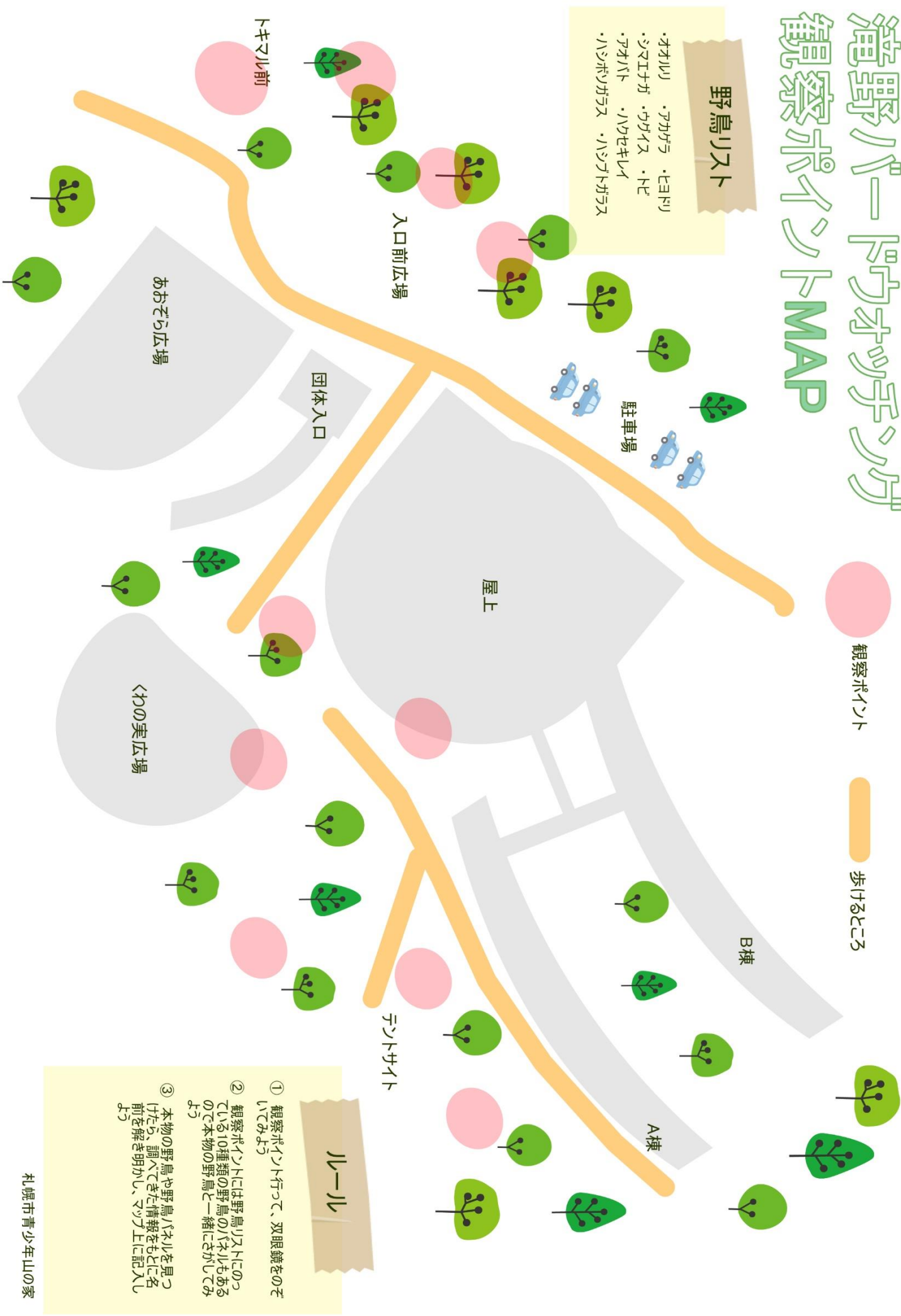
- ・事前準備で全員が同じ鳥を調べるのではなく、調べる野鳥を分担して、当日、相互に解説し合いながら、野鳥をさがすことも可能

準備物品

- 【山の家で貸出・購入可能なもの】
- ・双眼鏡（グループに1つ）
 - ・滝野のいきものさがし図鑑（1冊 250円で販売）
- 【団体で準備するもの】
- ・別紙1～2、カメラ、筆記用具

備考

滝野バードウォッチング 観察ポイントMAP



野鳥リスト

- ・オオルリ
- ・アカガラス
- ・ヒヨドリ
- ・シマエナガ
- ・カゲイヌ
- ・トビ
- ・アオバト
- ・ハクセキレイ
- ・ハシホトガラス
- ・ハシオトガラス

観察ポイント

歩けるところ

ルール

- ① 観察ポイント行って、双眼鏡をのぞいてみよう
- ② 観察ポイントには野鳥リストにのっている10種類の野鳥のバードルもあるので本物の野鳥と一緒にさがしてみよう
- ③ 本物の野鳥や野鳥バードルを見つけたら、調べてきた情報をもとに名前を解き明かし、マップ上に記入しよう

滝野バードウォッチング

観察ポイントMAP(解答)

● 観察ポイント
— 歩けるところ

野鳥リスト
・オオルリ
・シメナガ
・アオバト
・アカガラ
・ウグイス
・ハクセキレイ
・ハシボソガラス
・ハシトガラス



- ルール**
- ① 観察ポイント行って、双眼鏡をのぞいてみよう
 - ② 観察ポイントには野鳥リストにのっている10種類の野鳥のイラストもあるので本物の野鳥と一緒にさがしてみよう
 - ③ 本物の野鳥や野鳥イラストを見つけたら、調べてきた情報をもとに名前を解き明かし、マップ上に記入しよう

双眼鏡の使い方

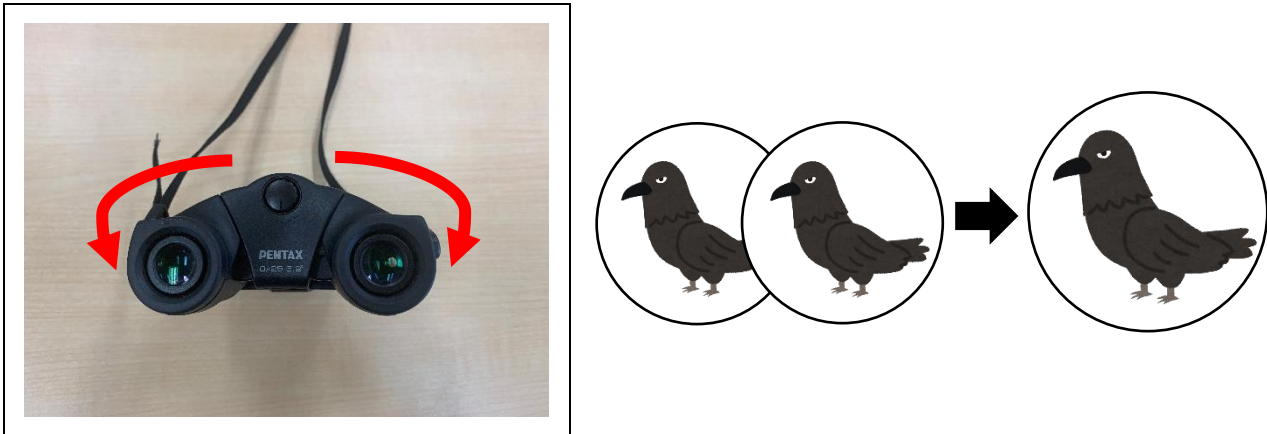
① 目当てリングの位置を調整する

- ・メガネをかけている方は、目当てリングをしまう
- ・メガネをかけていない方は、目当てリングを引き出す



② 目の幅を合わせる

- ・両手で双眼鏡の本体を持ち、両方の目でのぞき、「円」が重なって見えるように角度を調整する



③ 見え方の調節をする

- ・遠くの目標物を決め、左のレンズをのぞきながら、ピント合わせリングを回してはっきり見えるようにする
- ・次に、右のレンズをのぞきながら、視度調整リングを回してはっきり見えるようにする
- ・見えるようになったら、視度調整リングを押して収納します。



④ 目標物を変えるときは、ピント合わせリングのみを調節する